

新寄贈 お披露目 楠木正成像・児島高德像

かつて貞奴が暮らした二葉御殿に飾られていた銅像2体を川上家よりご寄贈いただきました。開館記念日にみなさまへご披露いたします。

◆ 2/8 (木) 11:00 ~ ◆ 会場: 中庭 ※館内よりご見学いただけます。



写真でたどる「川上貞奴」Part 2

現在に遺る貞奴の写真を見ながら、その足跡をたどります。

- ◆ 2/8 (木) 14:00 ~ 15:00
- ◆ 語り: 文化のみち二葉館 館長 緒方綾子
- ◆ 会場: 1階 大広間

川上貞奴と福沢桃介展

貞奴と桃介をエピソードと共に紹介します。

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 2階 和室



川上貞奴の愛した雛人形とお琴

貞奴が大切にしていた雛人形とお琴の展示

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 1階 展示室



川上貞奴の手描き雛の羽織

貞奴が描いた立雛をあしらった羽織の展示

◆ 2/8 (木) ~ 2/15 (木) ◆ 会場: 1階 展示室



日本の戯曲研修セミナー in 東海 2023

特集 川上貞奴

主催: 一般社団法人日本演出者協会
共催: 文化のみち二葉館

浄瑠璃版「滝の白糸」

明治28年、川上一座が、泉鏡花の小説「義血」を脚色して初演。以後新派、歌舞伎、講談、浪曲、映画で上演。

今回は浄瑠璃語り+マイム+人形で書下ろし披露します。

- ◆ 出演: 常磐津綱鵬、LONTO、古家暖華
- ◆ 浄瑠璃台本・演出: 木村繁
- ◆ 美術監督: 福永朝子 ◆ 舞台監督: Chang
- ◆ 2/9 (金) 15:30 ~
- 2/10 (土) 11:00 ~、14:00 ~
- ◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

パネルディスカッション

ゲストパネリスト: ふじたあさや

◆ 2/10 (土) 15:00 ~
◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

◆ ふじたあさや ◆
劇作家・演出家。1934年東京生まれ。早稲田大学文学部演劇専修中退。元昭和音楽大学ミュージカルコース教授。代表作に『日本の教育1960』『さんしょう太夫(斉田戯曲賞受賞)』『しのだづま考(芸術祭賞受賞)』『サンダカン八番娼館(脚色)』『ベッカンコおに(脚色)』『臨界幻想』ミュージカル『ねこはしる』等、代表演出作品に『うたよみざる』『羽衣』『12人の怒れる男』『杜子春伝』等、伝統から現代、対話劇からミュージカル、記録的演劇から児童劇と作風は多岐にわたる。日本演出者協会理事長の他、(社)日本劇団協議会、日本劇作家協会、(社)日本芸能実演家団体協議会、日本児童青少年演劇劇団協同組合、アシテジ(世界児童青少年舞台芸術協会)世界理事、NPO法人KAWASAKIアーツ理事長等、業界団体役員を歴任。川崎市文化賞受賞。

※日本の戯曲研修セミナーは、芸術創造センターでも開催いたします。開催期間2/1(木)~10(土)

郷土ゆかりの文学展

「辻真先ワンダーランド」

◆ トークイベント ◆

第一部「辻真先×アニメ×脚本」

過去の番組映像を上映し、脚本執筆当時の思い出などをお話いただきます。

第二部「辻真先×ミステリ×名古屋」

辻真先作品を中心としたミステリ談義や、作品に登場する昭和の名古屋の様子などをご対談いただきます。

- ◆ 対談: 辻真先(作家・脚本家)、太田忠司(作家)
- ◆ 2/17 (土)
- 第一部 13:00 ~ 14:15 第二部 14:30 ~ 15:30
- ◆ 会場: 1階 大広間 ※当日先着自由席

ミステリ作家・アニメ脚本家である氏の書籍作品や貴重な脚本資料、直筆資料などを展示紹介します。

◆ 2/4 (日) ~ 3/10 (日) ◆ 会場: 2階 展示室



◆ 辻真先 ◆
(つじまさき)
1932年、名古屋市生まれ、名古屋大学文学部卒。NHKで番組制作や演出に携わる。退職後は『鉄腕アトム』など数多くのアニメ脚本を執筆し、文筆の場を中心に活躍する。1981年『アリスの国の殺人』で第35回日本推理作家協会賞受賞。2019年、第23回日本ミステリー文学大賞受賞。

◆ 太田忠司 ◆
(おおただだし)
1959年、名古屋に生まれる。名古屋工業大学電気工学部卒。1981年、星新一ショートショートコンテストで『帰郷』が優秀作に選ばれる。1990年、長編ミステリ『僕の殺人』で本格デビュー。2022年、『麻倉玲一は信頼できない語り手』が第8回徳間文庫大賞を受賞。